

1. 山本 祐平

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1.本市の財政状況及び市政運営について</p>	<p>本市では、過大規模校の問題や基金の債券運用など多くの課題があり、厳しい財政状況が続いている。昨年末には「厳しい財政状況を乗り越えるための市政方針」が示され、臨時行財政運営方針と令和7年度の中期財政見通しが発表された。市政方針では、令和8年度から令和9年度の2年間、緊急性と重要性の高い3つの柱に注力するとし、市長が掲げた公約の一部は一時的に実施を見送らざるを得ないとされている。</p> <p>このような市政方針が示される中、市政方針についての説明会や意見交換会は実施されておらず、市政方針を知った市民からは不満と不安の声が聞こえている。</p> <p>これらを踏まえ、以下について伺う。</p> <p>① 昨年8月の大雨災害が本市の財政に与えた影響</p> <p>② 多くの課題の中から3つの柱を選定した理由</p> <p>③ 実施を見送る公約の一部とは具体的に何か</p> <p>④ 過去の財政見通しと実際の行政運営の差をどう評価しているか</p> <p>⑤ 令和8年度当初予算編成過程と例年の当初予算編成過程との違いはあるか</p> <p>⑥ 事業の選択や先送り以外の財政健全化への具体的な取り組みをどう考えているか</p>	

2. 秦 浩

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 本市の通学路における安全性について	① 昨年9月定例会の一般質問で「学校見守り隊」について質問したが、所管課が不透明である。その後の市の考えについて伺う。 ② 新設小学校における通学路の安全性について伺う。 ③ 福間東中学校における校区外通学での自転車通学の導入について伺う。	
2. 公共施設の使用料改定について	各団体への説明会を行っているが、市民からはどのような意見があるか。また、使用料減免の考えについて伺う。	

3. 中村 恵輔

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 教育環境の充実と学校間連携の推進について</p>	<p>令和7年12月定例会の一般質問で取り上げた福間南小学校の教育環境について、過大規模校化している現状を踏まえ、これまで求めてきた改善策の進捗状況を伺う。併せて、当面の対策と中長期的な取り組み方針について伺う。</p> <p>同様に、12月定例会の一般質問で取り上げたコミュニティ・スクールを軸とした取り組み及び関係機関との連携（協定を含む）について、その進捗状況と成果・課題を伺う。併せて、学びの連続性の確保、関係者の負担にも配慮した持続可能な仕組みづくり等の今後の方向性について伺う。</p>	
<p>2. 福津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について</p>	<p>現在策定中の福津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）については、ブルーカーボンに加え、観光・防災・地域コミュニティ・教育連携など、福津市の地域特性をどのように反映するのかが重要であり、パブリックコメント等の意見をどう踏まえ、今後の実行につながる計画として整理していくのかが問われる。</p> <p>そこで、区域施策編の計画策定状況と福津市らしい特徴の位置づけ、並びに今後の実行を見据えた考え方について伺う。</p>	

4. 井手口 忠信

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 高齢者の権利擁護の推進について	<p>本市では、今後、後期高齢者や単身高齢者世帯、認知症高齢者の増加が見込まれることから、介護による生活支援に加えて、尊厳と財産、そして意思決定を守る権利擁護の体制強化が急務となっている。</p> <p>そこで本市の高齢者の権利擁護事業について、以下のことを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者虐待防止の取り組み ② 意思決定支援の推進 ③ 高齢者の消費者被害、特殊詐欺防止 ④ 地域での見守り体制の強化 ⑤ 成年後見人制度の利用支援 	

5. 大山 隆之

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 稼げるまちについて	<p>昨年の6月定例会における所信表明の中で「暮らしを豊かにし、稼げるまちを作っていきます。」と稼げるまちの実現を目指していく方針を明らかにした。この稼げるまちの実現に向けた政策について以下のことを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 今年度の稼げるまちに関する具体的な取り組み ② ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の現状と今後の見通し ③ 企業誘致の今後の方針 ④ 一次産業や伝統的な産業、地域の食材を使った飲食業に対する稼げるまちの考え方 	

6. 中村 清隆

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1.障がい福祉について	<p>障がいの有無に関わらず、誰もが住みやすいまちでなければならないと考えるが、障がいがある人にとっては、生活の中でまだまだ不便を感じることもある。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>① 「福津市障がい者計画・障がい福祉計画及び障がい児福祉計画」の検証及び見直しの状況</p> <p>② 障がい福祉に関するアンケート調査</p> <p>③ 障がい者スポーツの環境整備と推進</p> <p>④ 放課後等デイサービス</p> <p>⑤ 障がい者用施設の利用料金や駐車料金等の割引サービス</p>	
2.公共施設使用料について	<p>公共施設の使用料改定について、減免等の考え方を伺う。</p> <p>① 施設の使用目的に応じた使用料減免となっているか</p> <p>② 青少年育成の目的で使用する際の使用料減免の考え</p> <p>③ 健康福祉施設であるふくとぴあは他の公共施設と使用料減免の考え方に違いがあるか</p> <p>④ 公共施設の包括管理を行うことで、コスト削減と業務効率化が図られているか</p>	
3.都市計画について	<p>企業誘致を進める上で、土地の用途等を変更する必要があると考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>① 農業振興地域の見直し</p> <p>② 都市計画道路の見直し</p> <p>③ 本市の今後の都市計画の見直し</p>	

7. 榎本 博

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 市民税の5%減税の取り組みと企業誘致について</p>	<p>(1) 令和7年6月定例会の総括質疑において、個人市民税・法人市民税の5%減税を実施した場合における影響などを、より具体的かつ実効性を持って調査・研究していくために、庁内プロジェクトチームを設置し、他自治体の取り組み事例など幅広く調査を行いたいとの答弁があった。その後の経過及び内容と結果について伺う。</p> <p>(2) 令和7年9月定例会の一般質問において、誘致する企業の想定や税収見込み額の質問を行った。8月に庁内プロジェクトチームとなる調査研究会議の設置を決定し、9月以降、有識者からの助言を参考に検討するとの答弁であった。その後の経過及び内容と結果について伺う。</p>	
<p>2. 東福間駅周辺地区及び津屋崎地区の拠点整備について</p>	<p>(1) 東福間駅周辺地区</p> <p>① 令和7年9月定例会の一般質問で、東福間口駅前広場は本年度着工するとの答弁であった。現地では着手している様子が見られないが、工事の進捗状況について伺う。</p> <p>② 駅前広場はイベントスペースを設けるという形で進められており、活用に必要な規則やイベントスペースの名称について内部で検討し、市内外へ情報を発信するとの事だった。進捗状況について伺う。</p> <p>③ 令和6年11月に東福間駅周辺地区都市再生整備計画の経過報告及び意見交換会が、神興郷づくり交流センターで行われた。その際、東部下水処理場の活用を急ぐ意見や要望が多く出された。その後の市の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 津屋崎地区</p> <p>夕陽館の営業開始予定が本年の4月から10月に延期となった。現在の進捗状況について伺う。</p>	

8. 石田 まなみ

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 生活保護制度の現状と課題について	<p>生活保護制度は、日本国憲法第25条に基づき、すべての国民に健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長する制度とされている。本市において、この制度の理念をどのように捉え、運用しているのかについて伺う。</p> <p>① 制度の基本理念を踏まえた本市の運用方針と、その実践状況 ② 対象者 ③ 申請から決定までのプロセスと対応 ④ 申請が認められない主な要因 ⑤ 生活保護の各種扶助が、受給者の生活実態にどのように対応しているか ⑥ 市民から寄せられる主な相談内容と誤解への対応、制度理解を深めるための取り組み ⑦ 自立支援や就労支援との連携 ⑧ 子育て支援の制度との連携</p>	
2. 市民の健康を守り、病気の予防や早期発見を推進するための施策について	<p>市民の健康を守るうえで、病気の予防や早期発見は極めて重要であり、その手段の一つとして集団健診は大きな役割を担っている。本市における集団健診をはじめとする、健康に関する施策について伺う。</p> <p>① 集団健診の目的と意義 ② 受診率の現状と課題 ③ 受診のしやすさを高める取り組み ④ 子育て世帯や若年層へのアプローチ ⑤ 学校に通うことが困難な児童・生徒に対する健康診断の実施について ⑥ 生活保護世帯や経済的困窮者への支援 ⑦ 健診後のフォロー体制</p>	

9. 佐伯 美保

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
<p>1. 雨に強いまちづくりを進める上での福津市雨水管理総合計画について</p>	<p>本市においては、昨年8月の豪雨で内水氾濫と外水氾濫が起き、多大な浸水被害が出た。地域の安全と暮らしを守るために、近年の雨の降り方の局地化・集中化・激甚化を踏まえ、本市の雨水に関する課題を総合的に整理し、対策していくことが求められる。本市の雨水総合管理計画について、以下のことを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 福津市雨水管理総合計画における基礎調査等 ② 浸水要因の分析等 ③ 福津市雨水管理総合計画における新設校周辺地域の位置づけと整備目標等 ④ 今後の雨水整備に向けての令和7年度策定の福津市雨水管理総合計画の位置づけと整備目標等 	
<p>2. 市の生涯学習政策と公共施設使用料運用の整合性等について</p>	<p>生涯学習は、人生の質を高め、地域の未来を支える“社会の基盤”である。「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」が施行されて以来、地方公共団体においては様々な取り組みが行われている。本市においては生涯学習の機会を提供するために公共施設を利用する際、参加費が有料の場合は施設使用料が増額されるという運用状況がある。市の生涯学習政策と公共施設使用料運用の整合性等について伺う。</p>	
<p>3. 子どもの権利推進の取り組み等について</p>	<p>本市における子どもの権利推進の取り組み状況と今後の取り組み等について伺う。</p>	
<p>4. 福間南小学校の過大規模校対策について</p>	<p>福間南小学校の過大規模校対策の現状と今後の取り組み等について伺う。</p>	

10. 中村 晶代

質問事項	質問要旨	備考
<p>1.市営住宅について</p>	<p>市営住宅は、住宅に困窮する市民にとって重要なセーフティーネットであり、生存権の保障として憲法にも定められた社会保障の一環である。</p> <p>現在、第2期福津市営住宅長寿命化計画が策定中であり、昨年から4回にわたり市営住宅審議会が開催されている。また、入居者へのアンケート調査やパブリックコメントも行われた。そこで以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 入居者へのアンケート調査の内容と結果 ② パブリックコメントで出された意見の内容とその回答 ③ これらの結果を踏まえて計画案に変更を要すると考えられるものはあるか ④ 今後、市営住宅全体に必要な戸数 ⑤ 現在の空室数と使用できない部屋の戸数 ⑥ 入居希望者に対する部屋の不足割合 ⑦ 星ヶ丘団地と花見団地の集約・再編計画のスケジュールと方向性 ⑧ 五反田団地、両谷団地、後添団地の長寿命化への取り組み ⑨ 市営住宅の利用について規定されている例規における現状に応じた改善や変更の予定 ⑩ 災害時の被災者や、DV被害者への一時避難場所としての対応 	

11. 岩下 豊

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 安全安心でおいしい学校給食の提供について	<p>学校給食は子どもの心身の成長、発達には欠かせないものであり、安全安心な給食を食べることは、子どもの権利であると考えます。そこで、本市小・中学校の給食について以下のことを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本市学校給食の調理方式は自校式とセンター式があるが、今後の調理方式の考え方 ② アレルギーを持つ児童や不登校児童等への給食費徴収の対応 ③ 令和8年度は小学校の給食費の保護者負担が0円となるが、令和9年度以降の小学校給食費についての考え ④ 中学校の給食費無償化についての考え 	
2. 臨時行財政運営方針に基づく今後2年間の行財政運営について	<p>本市は昨年12月26日、市長メッセージとあわせて、強固な財政基盤の確立と今後の行政需要に的確に対応すること等を目的として、臨時行財政運営方針を発表した。令和8年度から令和9年度の2年間、この方針を念頭に行政運営及び組織改革、財政運営を進めるとしている。市民サービス低下を招かない事が重要であり、方針について具体的に以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 年末に市長メッセージを発出した理由 ② 優先的に取り組むとする緊急性と重要性が高い3つの柱として、災害に強く安心して暮らせるまちづくり、次世代を育む教育環境の整備、人も企業も行政も「稼ぐ」まちづくりを挙げているが、2年間で行う具体的施策 ③ 基金債券の現金化は行わず、満期保有を原則としているが、それによる市民サービスへの影響をどう考えているか。 	

12. 戸田 進一

質 問 事 項	質 問 要 旨	備 考
1. 豪雨対策について	<p>昨年8月の豪雨により市内各所で大きな浸水被害等が発生した。市は、本年3月末までに「雨水管理総合計画」を完成させ、本計画に基づく実施計画の策定に着手するとしているが、この間の豪雨で被害があった河川への当面の対策等は不透明である。</p> <p>そこで、「雨水管理総合計画」も含めた中長期及び当面の浸水対策について具体的に以下の点を伺う。</p> <p>① 「雨水管理総合計画」に基づく今後の進め方 ② 苅目川 ③ 井尻川 ④ 本木川 ⑤ その他の河川及びエリア</p>	
2. 必要とする人に必要なサービスを提供できる「介護制度」の構築について	<p>本市の「第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の計画期間は、令和6年度から令和8年度であるため、令和8年度に次期計画の検討を行うこととなる。</p> <p>そこで、現計画の課題や今後の方向性等と当面の課題について伺う。</p>	